



用賀中だより

学校だより 5月号
令和8年5月吉日
ようがの学び舎
世田谷区立用賀中学校

「恵みの雨のごとく」

ようがの学び舎 世田谷区立用賀中学校 校長 毛利 慎治

四月から五月にかけてのこの時季、「穀雨（こくう）」という言葉に耳にします。穀雨とは、春のやわらかな雨が田畑を潤し、穀物の成長を助けることを表す季節の言葉です。雨の日が続くと、私たちはつい空を見上げて、少し気持ちまで曇らせてしまうことがあります。しかし、その雨は、草木を育て、実りへとつながり、なくてはならない恵みでもあります。

私は、この穀雨の趣が、子どもたちの成長の姿にも重なるように思えてなりません。日々の学校生活には、喜びや楽しさだけでなく、思うようにいかないことや、努力を要すること、時には心が揺れるような出来事もあります。けれども、そうした一つ一つの経験こそが、子どもたちの心を耕し、人としての力を育てていくのだと感じています。穀雨の雨が静かに大地を潤すように、子どもたちの中にもまた、目には見えにくくとも、確かな成長が積み重ねられているのです。

さて、5月16日には、本校の運動会を実施いたします。運動会は、勝敗を競う場であると同時に、一人一人が自らの役割を自覚し、その責任を果たしながら、集団の中で生きることを学ぶ大切な機会でもあります。今年も、生徒一人一人がそれぞれの立場で役割を担い、この行事をつくり上げていきます。

私は、この運動会において、すべての生徒が「主人公」であってほしいと願っています。競技に出場する生徒はもちろんのこと、係活動に尽力する生徒、仲間に声援を送る生徒、陰で準備や片付けを支える生徒、その誰もが、かけがえのない存在です。大切なのは、自分に与えられた役割を明確に受け止め、それを誠実に果たそうとすることです。その営みの中にこそ、責任感は育まれていきます。

さらに、運動会を通して子どもたちに身に付けてほしいものがあります。それは、他者を思いやり、人の心の痛みが分かる人へと成長してほしいということです。全力を尽くすからこそ、うまくいかず悔しさを抱えることもあるでしょう。思いがすれ違うこともあるかもしれません。そうした時にこそ、相手の立場に思いを寄せ、励まし合い、支え合うことができる人であってほしいと願います。真に豊かな集団とは、力を競い合うだけでなく、互いを認め合い、いたわり合う心によって支えられるものです。

穀雨の季節の雨が、やがて豊かな実りへとつながるように、子どもたちが今向き合っている努力や経験もまた、将来へと続く確かな糧となることでしょう。運動会までの歩みの一つ一つが、生徒たちにとって、自らの役割を果たすことの尊さと、仲間とともに歩むことの喜びを知る機会となることを願っております。

ご家庭、地域の皆様におかれましても、子どもたちのひたむきな姿を、どうぞあたたかく見守っていただければ幸いです。

《5月の行事予定》

- 5月 7日（木）おはコミ（京西小）
- 5月 8日（金）おはコミ（用賀小）
- 5月11日（月）教育実習開始（教科は体育と技術）
- 5月16日（土）運動会（弁当持参）
- 5月18日（月）振り替え休日
- 5月19日（火）運動会予備日1（弁当持参）
- 5月20日（水）運動会予備日2（給食あり）
- 5月29日（金）教育実習終了



* おはコミとは「おはようコミュニケーション」を省略したもので、中学生が小学校に行って地域の人々とコミュニケーションを図る取り組みです。

お世話になった先生方から熱いメッセージをいただきました！

先日
の離任式では、本校を去られた先生方と温かな再会、そしてお別れがありました。式の間、先生方の最後のお話を真剣に聞く生徒の姿は、とても立派でした。代表生徒からの花束やお礼の言葉、退場を見送る拍手の音。そこには、本校が大切にしてきた『人を思いやる心』が、新学期もしっかりと引き継がれている光景がありました。

斉藤先生は、生徒のお礼の言葉を聞いて、用賀中での懐かしい思い出が蘇り涙が出そうになったとおっしゃっていました。また、柳先生からは「挑戦すると思うと少しドキドキしてしまうかもしれないので、実験をすることで挑戦すると気が楽になります。たくさん実験してください。」と勇気づけられるコメントをいただきました。また、最後に、松下副校長先生は用賀中の生徒会の歌や「ゆずり葉」の詩に曲をつけて歌ったり、サクスの演奏を披露していただいたりして、会場は自然と拍手が沸き起こり大盛り上がりでした。林先生とインクルーシブ教育支援員の前田さんは欠席でしたが、代表生徒が準備していたお手紙をみんなの前で読みました。皆さんの気持ちがこもった素晴らしいお手紙でした。欠席した先生方には、後ほどお手紙を送ります。

出会いがあれば別れがありますが、その別れを「成長」の糧にして、先生方から受け取ったバトンを胸にこれからも頑張っていきましょう。

また、平林小由利カウンセラーより離任の挨拶としてお便りが届きましたので、ご紹介いたします。

とうとう大好きな用賀中学校を離れることになりました。相談室で話して下さったあなたの気持ちは、大切な箱に入れて持っていきます。振り返ると・・・あなたらしくはなして下さったすべてが、私の大切な思い出です。みなさんはどんな体験だったでしょうか？心がざわざわ不安定になっている時に、それを人に伝えるということは、とっても難しいことです。これからも練習と思って、是非相談室を利用し、自分の気持ちを大切にしていってくださいね。そして、教室内や廊下で、元気に挨拶して下さったみなさん！温かな声とっても嬉しかったです。年々みなさんの成長を見守れることが、私の元気の素でした。またどこかでお会いできますように。

平林 小由利カウンセラーより

離任された先生	お礼の言葉と花束贈呈の代表生徒	
松下 寛 副校長先生	3年 A 組 小口 琴実さん	3年 A 組 中北 小晴さん
斉藤 昭徳 先生 (数学)	3年 B 組 藤田 望生さん	3年 A 組 近藤 結衣子さん
柳 由妃 先生 (国語)	2年 B 組 岡田 めぐみさん	2年 D 組 蓮井 結梨さん
林 利恵 先生 (国語)	3年 B 組 藤田 真緒さん	3年 B 組 小林 こころさん
インクルーシブ 教育支援員 前田 康太 さん	3年 D 組 島仲 優奈さん	3年 D 組 菊地 諒さん



机の天板張り替えボランティアの活躍に感謝です！

4月18日(土)に第1回学校運営協議会がありました。基本的な考えは、「地域のコミュニティづくりに貢献できる学校」を目指し、学校と地域をつなぎ、子どもの学びと地域づくりを支える仕組みである地域学校協働活動として位置づけられています。今年度は11人のメンバーで構成されています。年6回あり、話された内容については「学校運営協議会だより」でお知らせいたします。

協議会后、机の天板の張り替えのボランティアの募集で集まった生徒たちと親父の会のメンバーで天板の張り替えを行いました。熱心に取り組む生徒たちのおかげで予定より早く仕上げることができました。まさに、地域と学校の協働活動といえるでしょう。これからもこのような生徒が活躍できる場を増やしていきます。